

詩『放課後』

チャイムが止んだ教室に
西日の帯がのびている
机を寄せる音がして
笑い声が廊下へ遠ざかる
わたしは黒板のすみに
残った一文字を消した
今日が静かに閉じていく

詩の総合問題

問1

テスト

上の詩『放課後』を読みなさい。この詩に描かれている時間帯を答えなさい。

解答：夕方

補足：『西日』という言葉から判断できる。

問2

テスト

詩『放課後』で、人が教室から離れていく様子が最もよくわかる一行を抜き出しなさい。

解答：笑い声が廊下へ遠ざかる

補足：笑い声が遠ざかることで、ほかの生徒たちが教室から離れていく様子が伝わる。

問3

テスト

詩『放課後』の最後の一行『今日が静かに閉じていく』の効果として最も適切なものはどれですか。

ア 一日の終わりを静かな余韻とともに表している イ 教室のドアが壊れたことを説明している ウ 一日が急に始まる様子を表している

解答：ア

補足：『今日』を『閉じていく』と表すことで、一日の終わりを印象的に表している。

短歌の総合問題

問4

テスト

短歌『改札を／ぬければ雨の／匂いして／胸なつかしく／君思い出す』を読みなさい。話し手が『君』を思い出すきっかけとなった言葉を抜き出しなさい。

解答：雨の匂い

補足：雨の匂いを感じたことがきっかけとなり、「君」のことを懐かしく思い出している。

問5

テスト

短歌『改札を／ぬければ雨の／匂いして／胸なつかしく／君思い出す』に表れている心情として最も適切なものはどれですか。

ア 雨の匂いから『君』との記憶を懐かしく思い出す気持ち イ 傘を買えたことを自慢する気持ち ウ 改札の場所がわからず怒る気持ち

解答：ア

補足：『胸なつかしく』とあるため、雨の匂いをきっかけに『君』との記憶を懐かしく思い出しているとわかる。

俳句の総合問題

問6

テスト

俳句『秋風や／白線だけが／校庭に』を読みなさい。この俳句の季節を答えなさい。

解答：秋

補足：『秋風』が季節を直接示している。

問7

テスト

俳句『秋風や／白線だけが／校庭に』から感じられる印象として最も適切なものはどれですか。

ア 人の姿がなく静かな校庭の寂しさ イ 大勢が歓声を上げるにぎやかさ ウ 真夏の強い暑さ

解答：ア

補足：『白線だけが』という表現が、人のいない静かな校庭を強く印象付けている。

鑑賞記述

問8

テスト

詩『放課後』について、作品中の表現を一つ根拠として挙げ、作品全体から感じられる情景または心情を鑑賞文として書きなさい。

解答：『笑い声が廊下へ遠ざかる』という表現から、にぎやかだった放課後が終わり、教室が静けさに包まれていく様子が感じられる。

補足：作品中の具体的な表現を根拠として挙げ、その表現と放課後の終わりや静けさを適切に結び付けていればよい。